



READ Me



ネットワークから最新のソフトウェアをダウンロードできることは、インターネットの大きな魅力の1つです。このコーナー「READ Me」では、ネットワークから入手できる最新のソフトウェアに焦点をあてて、必ず役に立つ情報満載でお届けします。まずは今月の注目ソフトから。

ついに登場
コミュニケーター4.0
Release 2
特集

HOTTEST TOOLS

今月の注目ソフト

[ネットスケープコミュニケーター]

Netscape Communicator Ver.4.0 Preview Release 2

2月24日、ネットスケープ社からコミュニケーター4.0 Preview Release 2が発表された。Release 1では未対応だった多くの機能がこのバージョンで実現され、次世代の統合環境は着々と完成に近づいている。さらに、プラットフォームもWindows版に加えて、マッキントッシュ版とUNIX版が同時に発表された。WWWブラウザや電子メールからスケジューラーまで、ユーザーのデスクトップは確実に変わろうとしている。

動作環境

ウィンドウズ：ウィンドウズ3.1、95、NT
マッキントッシュ：パワーPC
UNIX：IRIX 5.3、IRIX 6.2、Solaris 2.4以上、SunOS 4.1.4、HPUX 9.3、LINUX



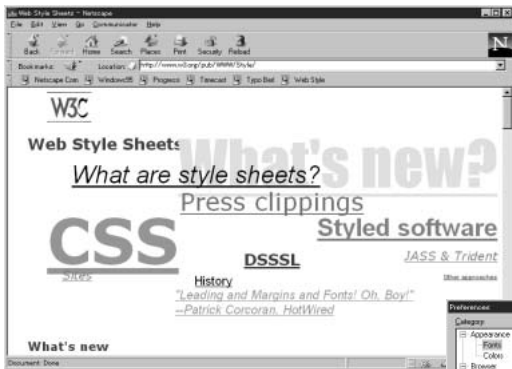
◎キャンバスモードのフルスクリーン画面

B

【ナビゲーター 4.0】

スタイルシートとキャンバスモードに対応

Release 1では先送りにされた、待望のカスケディングスタイルシート(CSS)に対応した(図A)。さらに、これをJavaScriptで操作する「JavaScriptスタイルシート」という新しい仕様にも対応した。すでにCSSに対応しているエクスプローラとは一部の相違を除いて基本的に互換性があり、ウェブパブリッシングの世界が大きく変わる可能性がある。そして、もう1つ注目したいのが、ページの新しい表示方法である「キャンバスモード」だ。これを使って作成したページは、フルスクリーンで表示される(図B)。インターネットやイントラネットを使ったプレゼンテーションなどに抜群の効果を発揮しそうだ。



◎待望のカスケディングスタイルシートに対応した

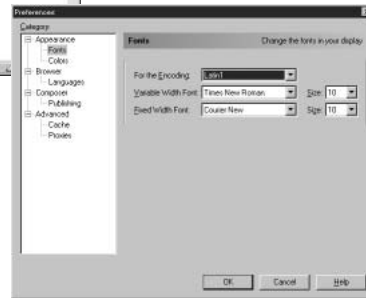
A

シンプルになった設定画面

フォントサイズの変更やスタートページの登録など、各種の項目がツリー状に整理され、より直感的に設定ができるようになった(図C)。

機能豊富なツールバー

まず、注目は「Back」と「Forward」ボタンだ。これをマウスで押したままにすると、これまでに見てきたページのリストが表示され、2つ前、3つ先など好きなページに移動できる。また、「Netsite」アイコンをマウスで押さ



◎シンプルになった設定画面

C

配布元：ネットスケープコミュニケーションズ社
入手先：http://home.netscape.com/comprod/mirror/client_download.html

て、すぐ下のパーソナルツールバーに引っ張っていくと、表示中のページへのショートカットボタンができる。

【メッセンジャー 4.0 + コンポーザー 4.0】

マルチプロフィールに対応

多機能な電子メールソフト、メッセンジャーにうれしいマルチプロフィール機能が追加された。複数のユーザーが1つのメールソフトを使う場合や、1人のユーザーが複数のメールアドレスを使う場合に効果を発揮する。それぞれの設定を登録すると、メッセンジャーの起動時にDの画面が表示される。ここでプロフィールを選べば、該当するユーザー専用の環境でメールの送受信ができるようになる。

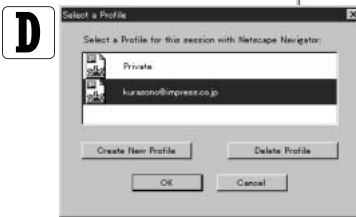
ディレクトリーサービスの追加

LDAP対応のディレクトリーサービスからメールアドレスを検索する機能は、Release 1で登場した。このバージョンではさらに「InfoSpace」と「WhoWhere」の2つのサービスが加えられている。日本語版が発表される頃までには、日本人専用のディレクトリーサービスが登場してほしいものだ。

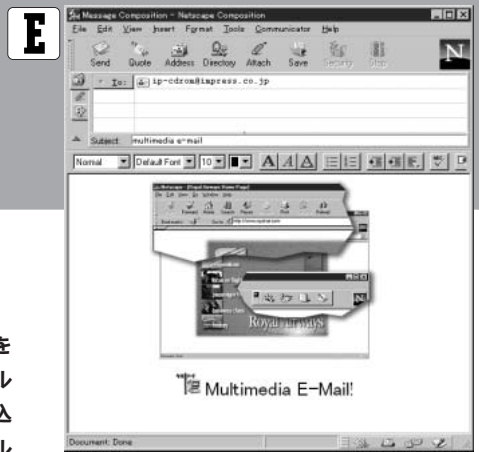
MIME-HTMLによる リッチテキストの送受信

ネットスケープメールの頃からHTMLメールの送受信には対応していたが、このバージョン

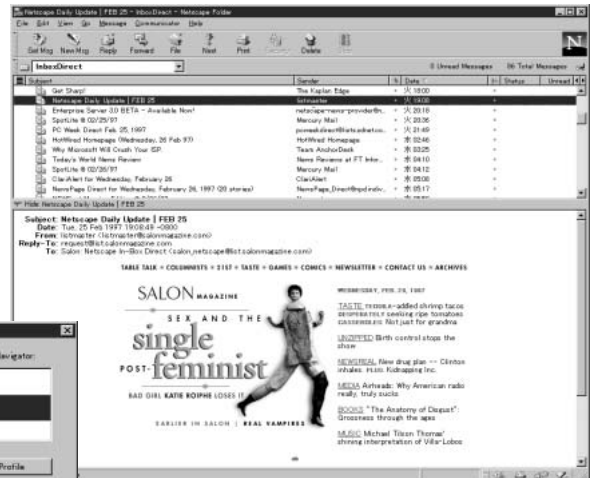
ではさらに強力な「MIME-HTML」機能をサポートした。これは、コンテンツのファイルをMIMEエンコードによってメールに取り込み、画像や音声ファイルを含むHTMLメールを送受信するという画期的なものだ。これを作成するために、コンポーザー4.0をメールを作成する際のエディターとして使えるようになっている(図E)。このウィンドウに、WWWブラウザから文字や画像をドラッグアンドドロップで挿入することもできるのだ。これまで文字だけでやり取りしていた電子メールが、画像や音声付きのマルチメディアメールに進化しようとしている。



● プロファイルの選択画面



● HTMLメールの作成にはコンポーザーが使える。ただし、送信相手がメッセンジャーを使っていない場合は、この形式でメールを送ることはおすすめできない。



● In-Box Directのグラフィカルなメールが読める

【カレンダー 2.0】

オンラインとオフラインに対応

Release 2のプロフェッショナルエディションには、ネットスケープカレンダーというスケジュール管理ソフトが付属している。専用のカレンダーサーバーと連動させる「オンラインモード」では、カレンダーの起動時にサーバーにログインして、ここからグループ全体のスケジュールを読み込む。これによって、会議の企画者が参加者を選択すると、選ばれたメンバーのスケジュールに自動的に予定が登録されるといったシステムができる。サーバーがなくても「オフラインモード」で起動すれば、個人のスケジュール管理ソフトとして使える。ただ

し、現在発表されている英語版では日本語が使えない。4月に予定されている日本語版の発表を待とう。

タスクリストの作成

イベントなどのスケジュールとともに、作業の進行状況を管理するのが「タスクリスト」だ(図F)。1つの仕事をいつまでに完成させるかを登録して、その進み具合をパーセント単位で記録しておく。「Reminder」機能を使えば、指定した日時に期限が来たことを知らせるメッセージが表示される。この機能をオンラインモードで使えば、メンバーはグループ全体の作業の進み具合を把握できることになる。



● 仕事の進み具合がパーセンテージで表示される

スケジュールのインポート

ヒューレットパッカード社のHP 100LXと200LXのスケジュールデータを読み込んだり、逆にカレンダーのデータを送り出したりできる。マイクロソフト社のSchedule+からもデータは読み込めるが、送り出しには対応していない。あちらからの乗り換えだけ歓迎ということだろう。

● 専用のサーバーとの組み合わせで威力を発揮するネットスケープカレンダー





よくあるソフトウェアについての質問

FAQ

このコーナーでは、みなさんから寄せられたソフトウェアに関する質問や疑問に

ついてお答えしていきます。「セットアップができない!」、「こんなソフトはないの?」などなど、困っていることがありましたら質問を編集部までどしどしお寄せ下さい。メールには必ず「README FAQ係」の1行を入れてく

ださい。投稿してくれた方にはダイレクトプラスを発行します。採用分には最低でも50,000 プラス

を発行します。詳しくは432ページをご覧ください。なお、質問に対する電子メールでの回答はできませんのでご了承ください。

宛先: ip-cdrom@impress.co.jp



ホームページのデータをプロバイダーに送るにはFTPというソフトを使えばよいと聞いたのですが、使い方がよく分かりません。

A

FTPがマッキントッシュのFinderと同じような操作で簡単にできるソフトウェアがあります。

前回はウィンドウズ用のFTPソフト「WS_FTP」を使ったホームページのデータの送り方を解説したので、今回はマッキントッシュ用の定番FTPソフト「Fetch」を使った方法を解説しましょう。設定の項目にプロバイダーから送られてきた資料を見ないと分からないところがあるので、事前に用意しておきましょう。

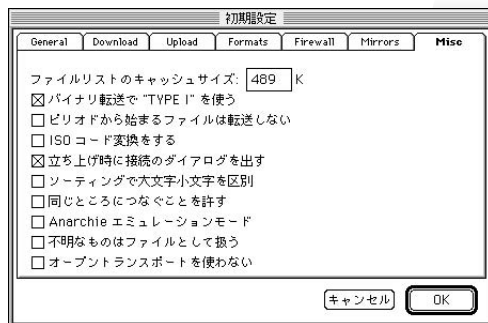
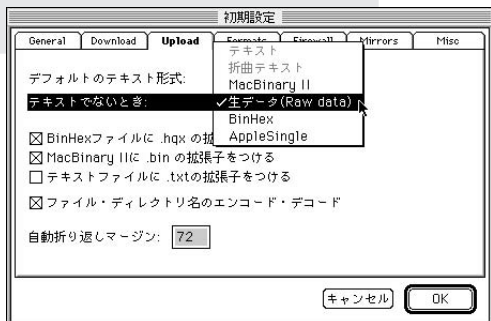
1

付録CD-ROMの「Mac」フォルダーの中にある「Fetch-J」フォルダーを、ハードディスクにコピーしてからソフトウェアを起動する。ウィンドウが開いたら、すでに登録済みならキーコードを入力して「登録」ボタンを押す（登録方法はフォルダー内の「Fetch readme」を参照してください）。まだなら「試しに使ってみる」ボタンを押す。



2

「新規接続」ウィンドウが開くが、「キャンセル」ボタンを押して閉じ、「カスタム」メニューから「初期設定」を選ぶ。まず「Upload」タブを押して「テキストでないとき」の項目を「生データ (Raw data)」にする。



3

次に「Misc」タブを押して上図のように設定して「OK」ボタンを押す。



4 「ファイル」メニューから「新規接続」を選び、「ホスト（接続先）」と「ユーザー名」、「パスワード」にはホームページ登録時にプロバイダーから発行された値を、「ディレクトリ」にはプロバイダーから指定されたフォルダー名をそれぞれ入力する。「OK」ボタンを押すとプロバイダーにあるホームページのデータを置く場所にアクセスする。

新規接続...

ホスト名、ユーザーID/パスワードを設定してください
(またはショートカットから選択してください):

ホスト(接続先):

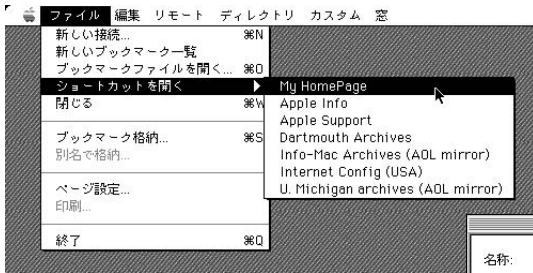
ユーザー名:

パスワード:

ディレクトリ:

漢字コード:

ショートカット:



ブックマークの編集

名称:

タイプ:

ホスト(接続先):

ユーザー名:

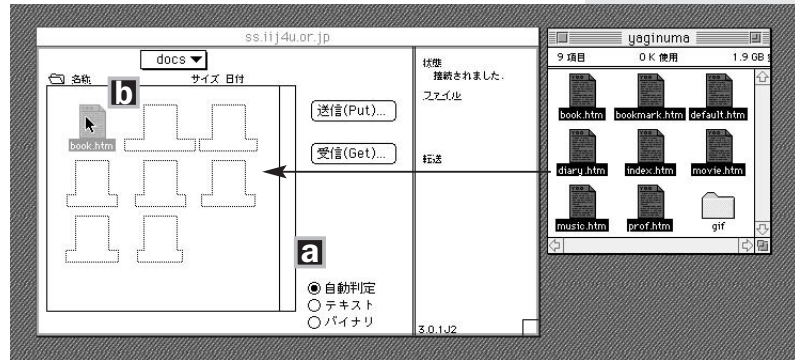
パスワード:

ディレクトリ:

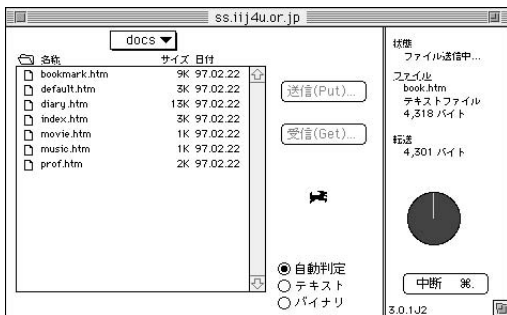
漢字コード:

5 アクセスしたら「カスタム」メニューの「新しいショートカット」を選ぶ。「ブックマークの編集」ウィンドウが開いたら、「名称」を「My HomePage」のような分かりやすい名前に変えて「OK」を押す。これで、次にアクセスするときに「ファイル」メニューの「ショートカットを開く」から「MyHomePage」を選ぶだけで、アクセスできるようになる。

6 データを送信する前に、**a** が「自動判別」にチェックされていることを確認する。送信したいホームページのデータを選択したまま、**b** まで移動する。



7 送信が始まると送信にかかる時間が円グラフで表示され、マウスカーソルの犬が走り出す。データの送信が終了するとアラームが鳴る。

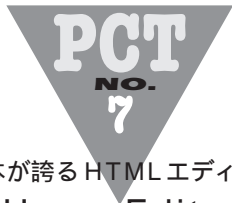


8 最後に、WWWブラウザで自分のホームページにアクセスして、正しく表示されるかどうか確認することを忘れずに。





プログラマーにインタビュー Programmer's Cool Talk



日本が誇るHTMLエディター
あの「HyperEdit」の作者

古原伸介

普段あまりメディアに登場することのないシェアウェアやフリーソフトウェアの作者の方々をお招きして、制作秘話などを聞かせていただこうというのがこのProgrammer's Cool Talkのテーマです。第7回のゲストは面倒なタグを自動入力、できあがったホームページをFTPサイトに一発転送できる「HyperEdit」の作者、古原伸介氏です。

Q プログラムを始めたきっかけは何ですか？

古原 初めてコンピュータに興味を持ったのは、コンピュータ系の専門学校に入ってからです。それから趣味ですとプログラムを続けていました。まあ、この趣味が高じてということですね。

Q その頃のプログラム環境はどんなものだったのですか？

古原 そうですね、たしかPC9801のFXとかすごい初期のころで、作っていたソフトも全部DOSです。FDというファイル管理ソフトがあるんですが、これが僕が初めて知ったフリーソフトウェアです。こんないいものがオンラインで、しかもただで手に入る。FDに感動していた頃ですね。

Q ウィンドウズが登場したときはどうでしたか？

古原 最初はウィンドウズのソフトは難しくてなかなか作れませんでした。それで「オブジェクト指向」のプログラムとかを自力で勉強してなんとかものにしたわけです。それでDOS時代に作った「TCARD」とか「NAVI」とかをまずウィンドウズに移植することから始めました。

Q これらのソフトをシェアウェアにしようと思ったのはなぜですか？

古原 この頃は会社員をやりながらソフトを作っていたので、さすがにサポートなどが大変になってきました。僕の性格からして、あまり大変になるとやらなくなってしまうので、



「インターネットは小さな個人に大きなチャンスを与えてくれる」

[プロフィール]

生年月日：昭和46年10月10日

好きなもの：スポーツ観戦、カラオケ、携帯情報端末
嫌いなもの：漬け物

お金をもらってしまえばやらざるを得ないだろうということでシェアウェアにしてしまったんです。

Q そしていよいよHyperEditが登場するわけですが、なぜ、HTMLエディターを作ろうと思ったのですか？



CD-ROM 収録先

HyperEdit Ver.4.10 : Win Hedit
ホームページ
<http://www.dicre.com/>

[プログラム環境]

PC : FM/V DESKPOWER SE 2

OS : Microsoft Windows 95

言語 : Microsoft Visual C++ 4.2

ヘルプ作成 : HelpCard

古原 ホームページを作りたくてHTMLの入門書を買ったんですが、実際にタグを書いてみるとこれはかなり面倒だなと、ここまで面倒だと書くのはもちろん、覚えるのもいやだなと思いました。これはいっそのことソフトを作ってしまったほうが早そうだ、というわけでHyperEditが生まれました。

Q このころ日本にはまだHTMLエディターはなかったような記憶があるのですが。

古原 これを発表したのは95年の6月ですが、僕が知る限りでは、ほかには「簡易HTMLエディター」(長嶋宏和氏によるフリーソフトウェア)が1本あっただけです。

Q ということは、HyperEditは日本初のシェアウェアとなったHTMLエディターということですね。

古原 そういいうい方もできますね(笑)。でもこれを発表した当時は、HTMLエディターなんて誰が使うの、という感じだったんです。それが今は数え切

れないほどのHTMLエディターが出ていますからね。インターネットの勢いを改めて感じています。

Q HyperEditに続く次のソフトの計画はありますか？

古原 メールソフトです。もうほとんど完成しています。早ければ3月中に発表できるかもしれません。名前は「HyperMail」を予定していたのですが、どうもこれはすでにあるらしいということで現在検討中です。

Q 最後にインターネットについてどうお考えですか？

古原 個人にとってのすごく大きな力というか、個人に味方してくれるものという感じですね。大企業相手に、個人ががんばれるということです。それと、皆さんホームページを作りましょう。とにかく作ったほうが名刺代わりにっていいと思います。HyperEditを使って(笑)。



What's New!



What's Up!

インターネットツール 最新情報

このコーナーでは、ネットワークから入手できるインターネットツールのうち、定番となっているもののバージョンアップ情報をお知らせします。自分で使っているツールのバージョンが最新のものかどうかを、月に一度このコーナーでチェックしましょう。また、便利なツールの新着情報も随時お伝えしていく予定です。入手先の欄にURLが記載されているソフトウェアは、CD-ROMに収録されていません。それぞれのホームページやFTPからダウンロードしてください。

[ウィンドウズ]

☉は本誌CD-ROMに収録されています

ソフトウェア名	最新バージョン	開発元 / 作者	カテゴリ	入手先
インターネットエクスプローラ	3.0.1	マイクロソフト株式会社	WWWブラウザ	☉Win Msie30
インターネットメールアンドニュース	1.0	マイクロソフト株式会社	メーラ、ニュースリーダー	☉Win Msie30
ネットスケープナビゲーター	3.0.1	ネットスケープ社	WWWブラウザ	☉Win Netscape
ネットスケープナビゲーター・ゴールド	3.0.1	ネットスケープ社	WWWブラウザ、HTMLエディター	http://home.netscape.com/comprod/mirror/client_download.html
Up ネットスケープコミュニケーター	Preview Release 2	ネットスケープ社	WWWブラウザ、メーラ、HTMLエディター、ディスクセッションツール	http://home.netscape.com/comprod/mirror/client_download.html
ショックウェーブ日本語版	f2	マクロメディア株式会社	プラグイン(動画、音声)	☉Win Shockjip
Up Shockwave The Works	12	マクロメディア株式会社	プラグイン(動画、音声)	☉Win Shockwav
New VDOLive Video Player	2.1	VDOnet社	リアルタイムビデオ	☉Win Vdolive
Up リアルプレイヤー	4.0 1a	プログレッシブ・ネットワークス社	リアルタイムビデオ	☉Win Realplay
Up リアルプレイヤー・プラス	4.0 1a	プログレッシブ・ネットワークス社	リアルタイムビデオ	http://www.real.com
Up PerMan Surfer 波乗り野郎	2.0.1	株式会社ビー・ユー・ジー	オートパイロット	☉Win Perman2
AL-Mail	1.32	中村 匡志	メーラ	☉Win Almail
Up Becky! Internet Mail	1.2.0	RIM-Arts software laboratory	メーラ	☉Win Becky
Eudora Pro-J (32bit)	2.2-J	株式会社クニリサーチインターナショナル	メーラ	☉Win Eudora_p
WS_FTP	4.01 97.01.22	lpswitch社	FTPクライアント	☉Win Wsftp
Tera Term Pro	2.0	寺西 高	Telnet	☉Win Ttermpro
Up Lhasa	0.1.1	竹村 嘉人	圧縮ファイル展開	☉Win Lhasa
WinZip	6.2	Nico Mak Computing社	圧縮ファイル展開、作成	☉Win Winzip

[マッキントッシュ]

ソフトウェア名	最新バージョン	開発元 / 作者	カテゴリ	入手先
ネットスケープナビゲーター	3.0.1	ネットスケープ社	WWWブラウザ	☉Mac Netscape 3.0.1
ネットスケープナビゲーター・ゴールド	3.0.1	ネットスケープ社	WWWブラウザ、HTMLエディター	http://home.netscape.com/comprod/mirror/client_download.html
New ネットスケープコミュニケーター	Preview Release 2	ネットスケープ社	WWWブラウザ、メーラ、HTMLエディター、ディスクセッションツール	http://home.netscape.com/comprod/mirror/client_download.html
ショックウェーブ日本語版	f2	マクロメディア株式会社	プラグイン(動画、音声)	☉Mac ShockwaveJP
Up Shockwave The Works	12	マクロメディア株式会社	プラグイン(動画、音声)	☉Mac Shockwave
New VDOLive Video Player	beta2.0.0b2	VDOnet社	リアルタイムビデオ	☉Mac VDOLive video player beta2.0.0b2
Up リアルプレイヤー	4.0 1a	プログレッシブ・ネットワークス社	リアルタイムビデオ	☉Mac RealPlayer
NCSA Telnet-J (吉田版)	2.7J2	Jim Browne、吉田昭男	Telnet	☉Mac NCSA Telnet
NCSA Telnet-J (吉岡版)	2.6.1d3.J7	Jim Browne、吉岡文雄	Telnet	☉Mac NCSA Telnet
Fetch-J	3.0.1J2	ハートコンピュータ株式会社	FTPクライアント	☉Mac Fetch-J
Eudora Pro-J	2.1.4-J	株式会社クニリサーチインターナショナル	メーラ	☉Mac Eudora Pro 2.1.4-J
FreePPP	2.5v2	FreePPP Group(Steve Dagley)	ダイヤルアップ接続	☉Mac FreePPP
AccessPPP	3.1	Merit Network, Inc., Michigan大学 (日本語化は工藤清次)	ダイヤルアップ接続	☉Mac Accessppp
Stuffit Expander	4.0.1	Alladin Systems, Inc.	圧縮ファイル展開	☉Mac Stuffit Expander
Internet Config日本語版	1.3J	Peter N. Lewis & Quinn ""The Eskimo"" (日本語化は大橋 猛と杉垣信義)	各種設定補助	☉Mac InternetConfig-1.3J



ソフトウェア
情報募集!

FAQの
質問募集!

投稿募集!

編集部では、日々新しいソフトウェアを探しています。注目ツール、面白いツール、便利なツールなどを発見したら、編集部までご連絡ください。また、CD-ROMに収録されているツールがバージョンアップしているぞ! といった情報も大歓迎です。

FAQではソフトウェアに関する質問を募集しています。「セットアップがうまくいかない」、「こんなソフトウェアはないの?」などなど、日ごろから思っている疑問・質問を編集部までお寄せください。宛先はip-cdrom@impress.co.jpです(電子メールでの回答はできませんのでご了承ください)。

「READMe」へ投稿してくれた方には、ダイレクトプラスを発行しています。採用分には最低でも50,000プラスを発行します。不採用でも少しだけ発行します。投稿には必ずインプレスダイレクト会員番号を付けてください。入会方法など詳細は432ページで紹介しています。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp